



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1238 2020 年 11 月 2 日

ARIB からのお知らせ

ARIB 機関誌 No.111 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.111 を 10 月 30 日付にて発行いたしました。

本号では、新しく就任された野村会長のあいさつをはじめとし、第 10 回定時総会及び第 30 回理事会の開催報告、当会の副会長による「巻頭言」を掲載し、総務省による令和元年度総務省 5G 総合実証試験特集に参加した企業からの寄稿を「トピックス」にて掲載しております。

「ARIB 活動報告」では、2020 年 7 月から 2020 年 9 月末までの活動期間の報告を掲載しました。

ARIB 機関誌 No.111 掲載記事

1 会長就任にあたって

一般社団法人電波産業会 会長 野村 勝明
(シャープ株式会社 代表取締役社長執行役員兼 COO)

2 第 10 回定時総会及び第 30 回理事会の報告

3 【巻頭言】

- ・リモート型社会における 5G への期待

一般社団法人電波産業会 副会長 田村 穂積
(株式会社 NTT ドコモ 常務執行役員)

4 【トピックス】

- ・2019 年度 5G 総合実証試験の全体概要
- ・屋外環境における 5G の超高速通信を活かしたユースケースの実証試験
- ・移動環境における 5G の超高速通信を活かしたユースケースの実証試験
- ・都市又は郊外における 5G の超高速通信を活かしたユースケースの実証試験
- ・屋内環境での第 5 世代移動通信システム実証試験
- ・5G 高信頼・低遅延通信を用いたコネクテッドカー 自動運転車の実現に向けた実証試験
- ・5G 多数同時接続の早期導入のための実証試験
- ・5G 総合実証試験の推進と振り返り
～ 5GMF・5G 実証試験推進グループの国内外における活動の軌跡 ～



5 【 ARIB 活動報告 】

電波の利用に関する調査、研究及び開発

電波利用システムの調査研究

電波利用システムの研究開発

高度無線通信研究開発

電磁環境調査研究

コンサルティング及び普及啓発

標準規格の策定

委員会報告

ARIB 日誌

出版物一覧

事務局の現状

事務局だより

ARIB 機関誌電子版を「ARIB 会員のページ」、「ARIB 機関誌」に掲載しておりますので、ご活用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

ARIB の動き

オンラインセミナーを開催 「5G 最新機能（3GPP リリース 16）」 ～仕様概要、実現ソリューションと産業連携～

10 月 27 日（火）に一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）と共催で、5G 最新機能（3GPP リリース 16）に関するオンラインセミナーを開催しました。本セミナーでは、5G の基本仕様の更新版となる 3GPP リリース 16 仕様セットが 7 月に合意・発行されたタイミングを受け、最前線で活躍されているエキスパートの方々を講師としてお迎えし、リリース 16 の最新機能概要の紹介が行われました。290 名を超える皆様に参加いただきました。

具体的に、5G システム仕様の検討経過、リリース 16 仕様の目的、コアネットワーク仕様の特徴、無線ネットワーク仕様の特徴、リリース 17 機能拡張予定の各テーマについて、TTC/ARIB でも活動している各講師から、想定ユースケース、実現ソリューション例、産業連携技術等も交える形で、3GPP での検討状況、仕様概要の説明が行われ、活発な質疑応答が行われました。

CEATEC 2020 ONLINE「5G スペシャルデーⅡ」の開催概要報告

今年の CEATEC 2020 は、ここ数年 CEATEC が掲げてきた「Society 5.0（超スマート社会）」をより身近なものとするため、オンラインで開催することとなりました。今回はそのオンラインサイトに用意されたコンファレンスエリアにおいて、昨年の 5G スペシャルデーに続き、10 月 21 日（水）午前から午後にかけて「5G スペシャルデーⅡ」が開催されました。

オンライン開催ということもあり、視聴者数は例年の会場参加者を大きく上回り、大変な盛況となりました。今後もオンデマンドにて、12 月 31 日まで視聴が可能のため、さらに多くの方の視聴が見込まれます。（URL：<https://www.ceatec.com/ja/>）

1. コンファレンス名

日 付：2020 年 10 月 21 日（水）

内 容：午前の部：5G ワークショップ「5G 産業利用への取組と今後の展望」

共催 一般社団法人電波産業会 (ARIB)、第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF)
一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)

後援 総務省

午後の部：5G 国際ワークショップ「ローカル 5G 導入への取組と今後の展望」

主催 総務省

共催 第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF)、一般社団法人電波産業会 (ARIB)

視聴者：午前の部 4,313 名、午後の部 3,394 名

（コンファレンスの視聴ボタンを押し、視聴した人数）

2. 開催概要

（1）午前の部：5G ワークショップ「5G 産業利用への取組と今後の展望」

開会にあたり共催者である、第 5 世代モバイル推進フォーラム 吉田 進 会長（京都大学名誉教授）から挨拶があり、さらに同じく共催者である一般社団法人電波産業会 児玉俊介 専務理事から挨拶がありました。



5GMF 会長 京都大学名誉教授
吉田 進 氏



ARIB 専務理事
児玉 俊介 氏

続いて、総務省 総合通信基盤局 鈴木信也 電波部長より、来賓挨拶がありました。総務省としての 5G への期待や普及展開促進のための様々な取組の説明がありました。また、「5G スペシャルデー II」について午前部、午後部それぞれの内容についても紹介されました。



総務省 総合通信基盤局 電波部長
鈴木 信也 氏

■セッション 1

本セッションでは、「5G 産業利用への取組状況」と題して、3 名の方の講演とビデオ上映がありました。

① 5G 総合実証試験の総括

5GMF 5G 実証試験推進グループ（5G-TPG）のこれまでの活動を振り返り、2017 年～2020 年にかけて実施してきた総務省による 5G 総合実証試験の実証事例の説明を通して、5G 商用サービスに向けた多様なユースケースの検証内容が紹介されました。



5GMF 5G-TPG リーダー
奥村 幸彦 氏（株式会社 NTT ドコモ）

② CIAJ の取組（ビデオ上映）

CIAJ の 5G 普及に向けた活動として、関係省庁への意見表明、分野別の専門家による委員会活動、有識者によるセミナーでの情報発信など、様々な活動内容が紹介されました。

③ 5G ユースケースにおけるセキュリティ

5GMF セキュリティ調査研究委員会の活動内容や本年 7 月に公開された白書の目的等の説明がありました。また、IoT デバイス、Connected-Vehicle、Fintech などのユースケースにおけるセキュリティ課題について、それぞれの検討内容が紹介されました。



5GMF セキュリティ調査研究委員会委員長
手塚 悟 氏（慶應義塾大学教授）

④ 5G／ローカル 5G 事業の可能性

CIAJ 調査統計委員会の活動として、ローカル 5G 市場のユーザーニーズ調査を実施した背景とその調査結果について説明が行われ、ローカル 5G に対して様々な関心が寄せられていることが紹介されました。



CIAJ 調査統計委員会 野口 正人 氏

(株式会社情報通信総合研究所 IOWN 推進室室長代理)

■セッション 2

本セッションでは、「5G 産業利用に向けた課題と今後の展望」と題して、以下の 3 テーマについて、5 名の方によるパネルディスカッションが行われました。

- ・今の 5G に必要なことは？
- ・未開拓の通信領域、海洋、HAPS、衛星等への対応は？
- ・5G の適用領域で未公開のような、視聴者が驚くような情報は？

一般のユーザは、まだ 5G の使い方が良く見えていないのではという観点から、5G の専門家の立場として、各パネリストより様々な具体例が示されました。また今後 5G はどういったエリアに広がっていくかなどについて、活発なディスカッションが行われました。

- モデレータ：中尾 彰宏 氏 5GMF ネットワーク委員会委員長（東京大学教授）
奥村 幸彦 氏 5GMF 5G-TPG リーダー（株式会社 NTT ドコモ）
手塚 悟 氏 5GMF セキュリティ調査研究委員会委員長（慶応義塾大学教授）
藤本 幸一郎 氏 日本電気株式会社ネットワークサービスビジネスユニット
デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹
大屋 靖男 氏 CIAJ 5G/Beyond5G システム委員会委員長（株式会社東芝）



左から：中尾 彰宏 氏、奥村 幸彦 氏、手塚 悟 氏、藤本 幸一郎 氏、大屋 靖男 氏

午前の部の閉会にあたり、一般社団法人
情報通信ネットワーク産業協会 今井 正
道 常務理事より、挨拶がありました。



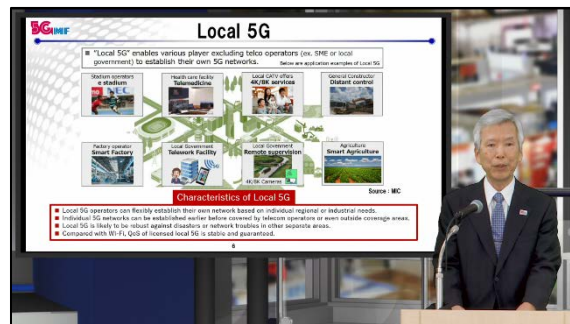
CIAJ 常務理事 今井 正道 氏

(2) 午後の部：5G 国際ワークショップ「ローカル 5G 導入への取組と今後の展望」

開会にあたり主催者である、総務省 総合通信基盤局 電波部 翁長 久 移動通信課長
からご挨拶のあとに、第5世代モバイル推進フォーラム 吉田 進 会長（京都大学名誉教
授）から基調講演が行われました。



総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長
翁長 久 氏



5GMF 会長 京都大学名誉教授
吉田 進 氏

■セッション 1

本セッションでは、「ローカル 5G 導入への取組状況」と題して、3 名の方の講演がありました。

① Efforts for Local 5G in Japan

総務省の取組と題して、Society 5.0 の実
現に向けて、総務省としてのローカル 5G に
対する様々な施策や、実証試験に対する取
組の説明がありました。



総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長
翁長 久 氏

② 5G, Smart Factory in Korea

アジアの状況（5G 工場利用）と題して、韓国ではローカル 5G の制度は導入されていませんが、既に 2019 年 4 月に商用化が始まっている韓国の 5G の普及状況の説明や、韓国 5G Forum のスマートファクトリーへの様々な先進的な取組などが紹介されました。



韓国 5G Forum 延世大学教授
Seong-Lyun Kim 氏

③ Utilization and Application of 5G in Japanese Agriculture

日本の状況（農業利用）と題して、総務省によるローカル 5G 等開発実証の農業分野のマネジメント担当として、日本の農業の状況や、様々なローカル 5G の活用事例の説明が行われました。

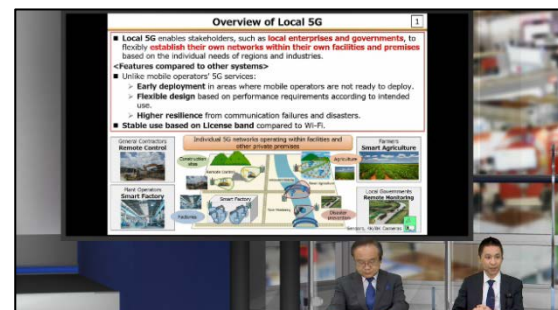


株式会社クニエ マネージャー
鈴木 亨弘 氏

■セッション 2

本セッションでは、「ローカル 5G 普及促進への取組と今後の展望」と題して、以下の 4 名の方によるパネルディスカッションが行われました。また冒頭、総務省 金澤 直樹 地域通信振興課長より、「Promotion and Deployment of Local 5G（ローカル 5G 等普及展開に向けて）」と題して、総務省の取組について概要説明がありました。パネルディスカッションでは、以下の 4 テーマに沿って、諸外国と比較した日本のローカル 5G の特長や意義、今後の普及促進における課題などについて、それぞれの立場で様々な角度から、活発なディスカッションが行われました。

- ・韓国における工場での 5G 利活用の状況
- ・日本におけるローカル 5G 等の制度や狙い
- ・ローカル 5G の特徴とキャリア 5G との違い、利活用と地方展開
- ・ローカル 5G のアプリ開発と今後の展開



総務省 金澤 直樹 氏（右）

モデレータ：関口 和一 氏

金澤 直樹 氏

Seong-Lyun Kim 氏

鈴木 亨弘 氏

岩浪 剛太 氏

株式会社 MM 総研 代表取締役所長

元日本経済新聞社論説委員

総務省 情報流通行政局 地域通信振興課長

韓国 5G Forum（延世大学教授）

株式会社クニエ マネージャー

5GMF アプリケーション委員会委員長

（株式会社インフォシティ代表取締役）



左から：関口 和一 氏、金澤 直樹 氏、鈴木 亨弘 氏、岩浪 剛太 氏、Seong-Lyun Kim 氏
（右上、オンライン参加）

午後の部の閉会にあたり、第5世代モバイル推進フォーラム 大村 好則 事務局長より、挨拶がありました。



5GMF 事務局長 大村 好則 氏

CEATEC 2020 ONLINE に出展

10月20日（火）から23日（金）まで、CEATEC 2020 ONLINE が開催され、当会（ARIB）も企業エリアにブースページを設けて広報普及活動を行いました。

今年の CEATEC は、「CEATEC - Toward Society 5.0 with the New Normal（ニューノーマル社会と共に歩む CEATEC）」をスローガンに、「Society 5.0 の実現と共に新たな社会への提案」、「オンライン開催ならではの DX 実現の提案」、「いつでも、どこからで

も参加できる新たな枠組みの提案」を開催テーマに、IT・エレクトロニクスに加えて、銀行、小売業界など CPS/IoT を活用する幅広い業種・産業の 356 社/団体が出展しました。また、登録来場者数は 85,650 名であり、4 日間の会期中に延べ 13 万名を超えた来場者がありました。

ARIB の独自ブースでは、電波システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動と本年度の電波功績賞を受賞された技術やシステムの紹介を行い、電波関係のビジネスに係る多くの方にオンラインによるご来訪をいただきました。なお、12 月 31 日（木）までオンライン上でご覧いただけます。

(URL : <https://www.ceatec.com/ja/>)

CEATEC 2020 ONLINE、ARIB ブース来場者数及び展示資料ダウンロード数

	10 月 20 日 (火)	10 月 21 日 (水)	10 月 22 日 (木)	10 月 23 日 (金)	合 計
ARIB ブース 来場者数 (人)	265	320	271	326	1,182
展示資料 ダウンロード 数 (件)	29	28	49	30	136

ARIB ブース画面



第 290 回 技術委員会(通信分野)を開催

第 290 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

- 1 日時：2020 年 10 月 28 日（水）15 時 30 分から 16 時 45 分まで
- 2 場所：当会第 2,3 会議室（Web 会議併用）

3 議題

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第 115 回規格会議の結果について
- (3) CJK IMT WG 第 59 回会合の概要について
- (4) AWG 第 26 回会合の概要について
- (5) APG-23 第 1 回会合の概要について
- (6) ITU-R WP5D 第 36 回会合の概要について
- (7) CEATEC 2020 ONLINE 「5G スペシャルデー(Ⅱ)」の開催報告について
- (8) CEATEC 2020 ONLINE での ARIB の出展報告について
- (9) ワイヤレス利用分野における国際標準化動向の調査者及び会合招致団体の募集について
- (10) その他

今週の ARIB 内会合（11 月 2 日～11 月 6 日）

開催を予定している ARIB 内会合はありません。

今週の国際会合（11 月 2 日～11 月 6 日）

11 月 4 日（水）oneM2M SC 第 54 回会合

*Web 会議

総務省からのお知らせ

IoT テストベッド及び地域データセンターに係る 助成金交付対象事業の募集（第 8 回）

【令和 2 年 10 月 23 日発表】

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT、理事長：徳田 英幸）は、特定通信・放送開発事業実施円滑化法（平成 2 年法律第 35 号）に基づく新技術開発施設供用事業（IoT テストベッド事業）及び地域特定電気通信設備供用事業（地域データセンター事業）への助成金交付の対象となる事業の募集を行っています。

詳細については、[【令和 2 年 10 月 23 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

衛星通信システム委員会報告（案）に対する意見募集
－「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち「高度 500km の軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」－

【令和 2 年 10 月 27 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 衛星通信システム委員会（主査：安藤 真 東京工業大学 名誉教授）は、高度 500km の軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件について、検討結果を委員会報告（案）として取りまとめましたので、令和 2 年 10 月 28 日（水）から同年 11 月 26 日（木）までの間、当該報告（案）について意見募集を行っています。

詳細については、[【令和 2 年 10 月 27 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

技術基準不適合無線機器の流通抑止のためのガイドライン（案）
に対する意見募集

【令和 2 年 10 月 28 日発表】

総務省では、「技術基準不適合無線機器の流通抑止のためのガイドライン」（案）を作成しました。つきましては、本案について、令和 2 年 10 月 29 日（木）から同年 12 月 4 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については、[【令和 2 年 10 月 28 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp